

バックナンバー

(特集一覧)

2019
(Vol.30)

6月号
(No.6)

新しい植込み型神経刺激装置と 臨床工学技士のかかわり

加納 隆 編

- ニューロモデュレーションの歴史と概要 谷 直樹ほか
- パーキンソン病に対する脳深部刺激療法 内山卓也
- 疼痛緩和のための脊髄刺激療法 細見晃一
- てんかん治療のための迷走神経刺激療法 中野直樹
- ニューロモデュレーション治療への臨床工学技士のかかわり 先田久志
- ニューロモデュレーション製品の特徴 山田久美子ほか
- ① DBS 用製品 長瀧友美
- ② SCS 用製品

[関連記事]

- ・ 植込み型神経刺激治療装置に対する電磁障害
—総務省調査より—

加納 隆

7月号
(No.7)

臨床工学技士新人教育の充実を目指して —フレッシュをどのように育てるか—

廣瀬 稔 編

- 新人教育プログラムの実際と策定のポイント 石井千昭
- 各業務での新人教育の実際と指導のポイント
- 医療機器管理業務 金 辰徳
- 血液浄化療法業務 武田 崇ほか
- 呼吸療法業務—在宅医療を含む— 春田良雄
- 人工心肺・補助循環業務 南 茂ほか
- 高気圧酸素治療業務 赤嶺史郎
- 心臓カテーテル業務 館 智子ほか
- 植込みデバイス業務 中川孝太郎
- 手術室関連業務 立野 聡
- 新人教育の評価ポイント—血液浄化を中心に— 古川史華ほか
- プリセプターシップの導入の効果 東條圭一ほか
- 卒後教育としての(公社)日本臨床工学技士会の取り組み 野村知由樹

8月号
(No.8)

呼吸管理 —上級編—

磨田 裕 編

- 経肺圧・食道内圧と臨床応用 塩屋 玲ほか
- EIT—electrical impedance tomography—の原理と臨床応用 宮下亮一ほか
- NAVA と Edi モニタリングより自然な呼吸へ— 高橋大二郎
- 肺保護換気戦略の最新知識—臨床的なアプローチ— 刈谷隆之ほか
- 腹臥位療法 宮川哲夫ほか
- 呼吸管理における ECMO 大山慶介ほか
- 酸素療法のいま 鈴木 聡
- 呼吸管理についてのメディカルスタッフ教育における臨床工学技士の役割・かかわり 相嶋一登

9月号
(No.9)

医療安全元年から 20 年を経て 人工心肺トラブルシューティング

許 俊鋭 編

- 人工心肺トラブルの成因におけるヒューマンエラーとシステムエラー 許 俊鋭
- 体外循環における空気誤送のメカニズムと対応策 百瀬直樹
- 人工肺の目詰まりによる内圧上昇の対応策 岩城秀平ほか
- 体外循環の災害対策 鈴木一郎
- 心筋保護に関連したトラブルと合併症—reprise— 吉田 譲
- 補助循環に関連したトラブルと合併症—IABP, PCPS, IMPELLA, VAD— 柏 公一ほか
- 人工心肺トラブルシューティングにおけるシミュレーション実践と教育の重要性 富澤康子
- 人工心肺における安全装置設置に関する勧告—第 6 版, 2018—を中心に 堤 善充

10月号
(No.10)

臨床工学技士が知りたい 医療ガスのすべて

廣瀬 稔 編

- 医療ガスの安全使用のために臨床工学技士はどうかかわるか 高倉照彦
- 医療ガスの安全管理を適切に行うために—通知のポイントを押さえて実務に活かす— 大杉 隆
- ここが知りたい! 医療ガスの製造方法 田邊浩義
- ここが知りたい! 医療ガス配管設備の基礎 元田忠磨
- ここが知りたい! 医療ガスに適用される高圧ガス保安法 大沼倫晃
- 事例から学ぶ 医療ガスに関連したトラブル 江場大二
- なぜ起こる? どのように改善する? 医療用ガスボンベのインシデント・アクシデント 梶原吉春
- 通知を遵守! 医療ガス設備の保守管理業務 小室克夫
- [関連記事]
- ・ 安全への取り組みに活かしたい! 医療ガス安全管理者講習会 出澤由紀子
- ・ 原理と構造を押さえよう! 圧力調整器による事故を防止するために 小川貴康
- ・ 酸素ボンベアラームの開発と活用 吉岡 淳
- ・ 医療ガスの認定制度—MGR を知っていますか?— 白坪隆文

11月号
(No.11)

血液浄化療法をめぐる最近の話題

篠田俊雄 編

- アルブミン漏出量を安定させる濾過法—一定圧濾過, 定速濾過, 濾過/置換コントロール— 田岡正宏
- 間歇補充型血液透析濾過 (I-HDF) における適正な補充量と頻度 長尾尋智ほか
- オンライン HDF におけるドナン効果は後希釈法で増強し, 前希釈法では減弱する: Na 出納の数値モデルによる定量的解析 篠田俊雄
- いわゆる「非自己管理型在宅血液透析」の問題と在宅血液透析管理マニュアルの改訂について 山川智之

■ 透析医療機関の酸性排水による
下水道管損傷とその対策

穴戸寛治

12月号
(No.12)

今求められている病院内の電波管理

—総務省が進める電波管理の具体策とグッドプラクティス—

加納 隆 編

■ 総務省による病院内電波管理の推進

加納 隆

■ 医用テレメータにおける諸問題と具体策

臨床現場から
テレメータ企業から

藤井清孝
椎野雄介

■ 無線 LAN における混信対策

実際の病院における運用と対策

山下芳範

無線 LAN 企業から

松口幸弘

■ 携帯電話における諸問題と具体策

スマートフォン導入による院内通信環境の整備と

臨床工学技士業務の改善

原田 学

病院内での携帯電話遮蔽対策による

安全性と利便性の向上

近藤克幸

■ 病院内電波管理体制の構築

実例①

石丸茂秀

実例②

松田真太郎ほか

【関連記事】

・ JEITA「小電力医用テレメータの運用規定」の

見直しについて

平野 知

・ 総務省が進める電波遮へい対策の取り組み

渡邊修宏

・ 病院内の電波問題を解決する新技術

一次世代 PHS「sXGP」—

播口仁朗

2020
(Vol.31)

1月号
(No.1)

臨床工学技士と災害対策 2020

廣瀬 稔 編

■ 医療機関での BCP の必要性和

策定時に考慮すべきポイント

江島 豊

■ 臨床工学技士からみた BCP の考え方

—透析関連を中心に—

高橋良光

■ 北海道胆振東部地震の経験から

大規模停電—ブラックアウト—における

透析センター稼働不能への対応

高橋直紀

透析患者受け入れへの対応

千葉二三夫ほか

■ 西日本豪雨の経験から

断水による水不足への対応

近藤隆司

■ 透析室の浸水・土砂災害対策

—装置設置の面から—

森上辰哉

■ 災害を想定したシミュレーション訓練

—臨床工学技士参加の重要性—

島田俊樹

■ 日本透析学会災害時情報ネットワーク

—情報伝達システムの概要—

岡田直人ほか

■ 日本医療機器販売業協会が取り組む災害対策

—流通の立場における東日本大震災の経験より—

五嶋淳夫

■ 設備設計者からみた災害対策で考慮すべき病院設備

自然災害の教訓を踏まえた医療施設の BCP

鈴木明文

BCP を考慮した電源系統の計画ポイント

川合満男

供給を維持するための医療ガス設備における BCP

岡田 正

【関連記事】

・ 日本災害時透析医療協働支援チーム (JHAT) の活動

山家敏彦

・ BCP 対策のための UPS の選定

筒井慶枝

2月号
(No.2)

麻酔のすべて【前編】

—麻酔器の構造・機能—

磨田 裕 編

■ 麻酔器の基本的構造

佐川雅俊

■ 気化器

藤本正弘

■ 麻酔器用の人工呼吸器と呼吸回路、呼吸バッグ

西方貴洋

■ 二酸化炭素吸収装置と二酸化炭素吸収剤

笠野靖代

■ APL 弁 (pop-off バルブ) および

麻酔ガス排除装置の構造と役割

南谷克明

■ 麻酔器における各種安全機能

鈴木茂樹

■ 麻酔器始業点検の実際

塩田 隆

【関連記事】

・ 麻酔ガスモニタ

佐々木雄一

・ なぜ、亜酸化窒素 (笑気) 使用症例は減少したのか?

武井寛英

3月号
(No.3)

麻酔のすべて【後編】

—麻酔科医の役割・業務—

磨田 裕 編

■ 麻酔科学史

菊地博達

■ 麻酔の基本

木田達也

■ 麻酔で使うおもな薬

木田達也

■ 麻酔科医の仕事

丸山晃一

■ 麻酔中のモニタ

川島征一郎

■ 周術期管理チームの実際

落合亮一

【関連記事】

・ 全身麻酔薬はどのように作用するのか

安藤富男

・ 麻酔記録用紙のみかた

大鹿博之

・ 麻酔の合併症—悪性高熱症 (MH)—とは

市原靖子

4月号
(No.4)

透析排水の諸問題とその対策

峰島三千男 編

■ 透析排水による下水道施設の損傷事故

高橋明宏

■ 2019 年版 透析排水基準

峰島三千男

■ 適正な排水管理

内野順司

■ 適正な洗浄・消毒剤の選択と使用

星野武俊ほか

【関連記事】

・ 関連法規—下水道法、水質汚濁防止法—

阿瀬智暢

5月号
(No.5)

医工連携を实践するために

必要なこと

百瀬直樹、加藤博史 編

■ 医工連携へのアクセス—各地域での参入事例— 関根広介

■ 医工連携を進めるに当たり知っておくべきこと

—秘密保持・知的財産・契約—

吉田哲也

■ ニーズの探索とニーズステートメント

西垣孝行

■ ニーズの絞り込み

—ニーズを選択しコンセプトを創造する—

加藤博史

■ ものづくり企業を知ることの重要性

西 謙一

■ こうすればよかった事例

—開発に必要な 4 つの S —

吉岡 淳

【関連記事】

・ 医療機器などの開発チームに必要なメンバーとは

—臨床工学技士はメンバーにふさわしいか—

野沢義則

・ 医療機器開発の人材育成事業における

臨床工学技士の役割

市之瀬 透